

令和 8 年 第 2 回 議 会 報 告 資 料

ページ

1	工事請負契約の締結について	
	・ 夫婦石系片縄地区送水管布設工事	1
	・ 海水淡水化センター高圧ROポンプ設備外更新工事	7
	・ 海水淡水化センター監視制御設備更新工事	13
	・ 多々良混合施設監視制御設備更新工事	19
2	「長期財政収支見通し2027（仮称）」の策定及び 「水道ビジョン2018」の一部改訂について	25
3	渇水対応のふりかえり	36

福岡地区水道企業団

1 工事請負契約の締結について

夫婦石系片縄地区送水管布設工事

1 契約概要

工事件名	夫婦石系片縄地区送水管布設工事	
工事概要	本工事は、管路整備計画に基づき、大規模地震に備えた耐震化、危機対応のための機能強化を図る目的で、送水管の新設工事を行うもの。 送水管の新設 ・口径φ1,100mm 工事延長 L=625m ・シールド工 L=580m ・開削工 L= 45m	摘要
		令和8年度支払い予定額 275,490,000円
		令和9年度支払い予定額 1,169,464,500円
工事場所	福岡県那珂川市片縄西4丁目地内外	
工事期間	令和8年3月4日から令和10年3月15日まで	
入札方法	総合評価方式による制限付一般競争入札	
開札年月日	令和8年2月16日	
契約年月日	令和8年3月3日	
落札者	戸田・松本・西光建設工事共同企業体 代表者 戸田建設株式会社 九州支店	
契約価額	1,444,954,500円 (うち消費税及び地方消費税相当額 131,359,500円)	
予定価格	1,573,266,200円 (うち消費税及び地方消費税相当額 143,024,200円)	
失格基準価格	1,430,506,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 130,046,000円)	

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場3	東田中・丸三・大和建設工事共同企業体	
地場外1 地場2	戸田・松本・西光建設工事共同企業体	

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

(1)技術評価点の内訳				落札者				
評価項目				配点	名称	戸田・松本・西光 建設工事共同企業体	名称	東田中・丸三・大和 建設工事共同企業体
					点数		点数	
提案項目	技術提案	項目①	平面・縦断線形を確保した確実な掘進について [工事特性] 本工事は、急曲線(半径17m)及び地下埋設物(既設水道管等)と近接した位置を掘進するため、平面・縦断線形の精度を確保した確実な掘進が重要となる。このため、平面・縦断線形を確保した確実な掘進について、より具体的で有効な提案を求める。	10	10.000		8.500	
		項目②	発進立坑及び坑内作業における労働者の安全対策について [工事特性] 本工事の発進立坑部は、狭隘な施工ヤード内で深さが10m程度の掘削、資機材等の荷下ろし作業及び坑内では限られた空間での作業となり、建設機械との接触、墜落、転落等からの労働者の安全確保が重要である。このため、発進立坑部作業における労働者の安全対策について、より具体的で有効な提案を求める。	10	10.000		8.000	
		項目③	発進立坑周辺住民の環境へ配慮した施工について [工事特性] 本工事の発進立坑部は、閑静な住宅街に設けていることから工事による騒音・振動対策などの環境への配慮が重要である。このため、周辺住民に対する環境への配慮について、より具体的で有効な提案を求める。	10	10.000		8.250	
	小計 a			30.0	30.000		24.750	
企業評価項目	企業の施工能力	項目④	工事成績の実績	4	3.430		3.430	
		項目⑤	工事成績優良業者の表彰実績	1	1.000		1.000	
		項目⑥	同種工事の施工実績	1	1.000		0.667	
		項目⑦	品質管理への取り組み	1	1.000		1.000	
	技術者の能力	項目⑧	資格の保有状況	1	1.000		1.000	
		項目⑨	同種工事の施工経験	1	1.000		1.000	
	地域貢献・社会貢献	項目⑩	本店所在地	1	0.667		0.833	
		項目⑪	社会貢献・政策貢献	2	0.667		0.500	
	社会性・信頼性		競争入札参加停止措置状況	(-2) [※]	減点なし		減点なし	
	小計 b			12	9.764		9.430	
加算点 a+b			42.0	39.764		34.180		
標準点 c			100	100.000		100.000		
技術評価点A (a+b+c)			142.0	139.764		134.180		

※配点欄の企業の信頼性・社会性(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除く価格)	1,313,595,000	1,300,460,000
------------------------------------	---------------	---------------

(3)評価値

評価値 A/B×α (αは数値調整のための係数) (予定価格が10億円以上の場合、α=1,000,000,000)	106.3980	103.1788
--	----------	----------

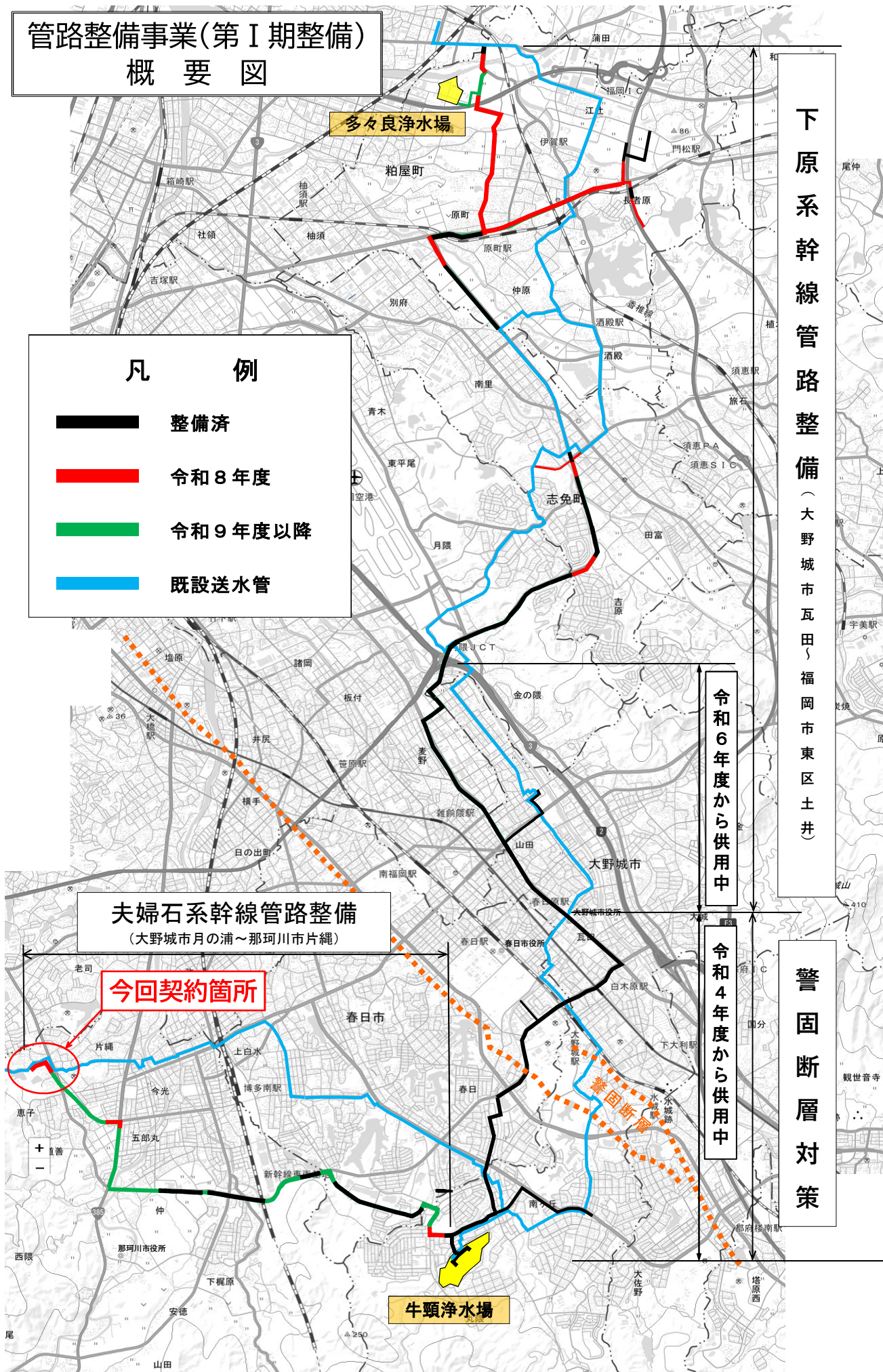
3 落札者の技術提案の概要

項目1	平面・縦断線形を確保した確実な掘進について 本工事は、急曲線(半径17m)及び地下埋設物(既設水道管等)と近接した位置を掘進するため、平面・縦断線形の精度を確保した確実な掘進が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。
項目2	発進立坑及び坑内作業における労働者の安全対策について 本工事は、狭隘な施工ヤードで10m程度の深さであることから、建設機械との接触や転落など労働者の安全確保が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。
項目3	発進立坑周辺住民の環境へ配慮した施工について 本工事は、発進立坑部は、住宅地に設けていることから工事による騒音・振動対策などの環境への配慮が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

(参考)評価項目の内容

評価項目		評価内容
企業の施工能力	工事成績の実績	H27年4月1日～R7年11月5日の間に、福岡地区水道企業団及び構成団体が評定通知した、一般土木及び管2種工事の任意3件の平均点によって評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	工事成績優良業者の表彰実績	R5年11月6日～R7年11月5日の間に、福岡地区水道企業団及び構成団体により「一般土木、管2種」の工事において、工事成績優良業者として表彰を行う旨通知した工事の実績により評価する。 ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	同種工事の施工実績	平成27年4月1日から令和7年11月5日に竣工した呼び径φ1,500mm以上の泥土圧式シールド工事の施工実績の件数により評価する。 (JV案件:各構成員ごとに加算点を算出し、その平均点を採用)
	品質管理への取り組み	入札公告日時点で、ISO9001の取得があれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技術者の能力	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者証の保有期間により評価する。
	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者に平成27年4月1日から令和7年11月5日に竣工した呼び径φ1,500mm以上の泥土圧式シールド工事の施工実績(監理技術者、主任技術者、現場代理人のいずれか)があれば優位に評価する。
社会地域貢献・	本店所在地	入札公告日時点で福岡都市圏に本店が所在し、また、公告日における本企業団競争入札有資格者名簿に登録された期間(地場としての継続期間)が長い企業を優位に評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	社会貢献・政策貢献	入札公告日時点で、「障がい者雇用」、「環境保全」、「保護観察対象者等の雇用」、「消防団協力支援」のいずれかの取り組みを行っている企業を評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信企社頼業会性の性・	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間に係る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点とする)

管路整備事業(第Ⅰ期整備) 概要図

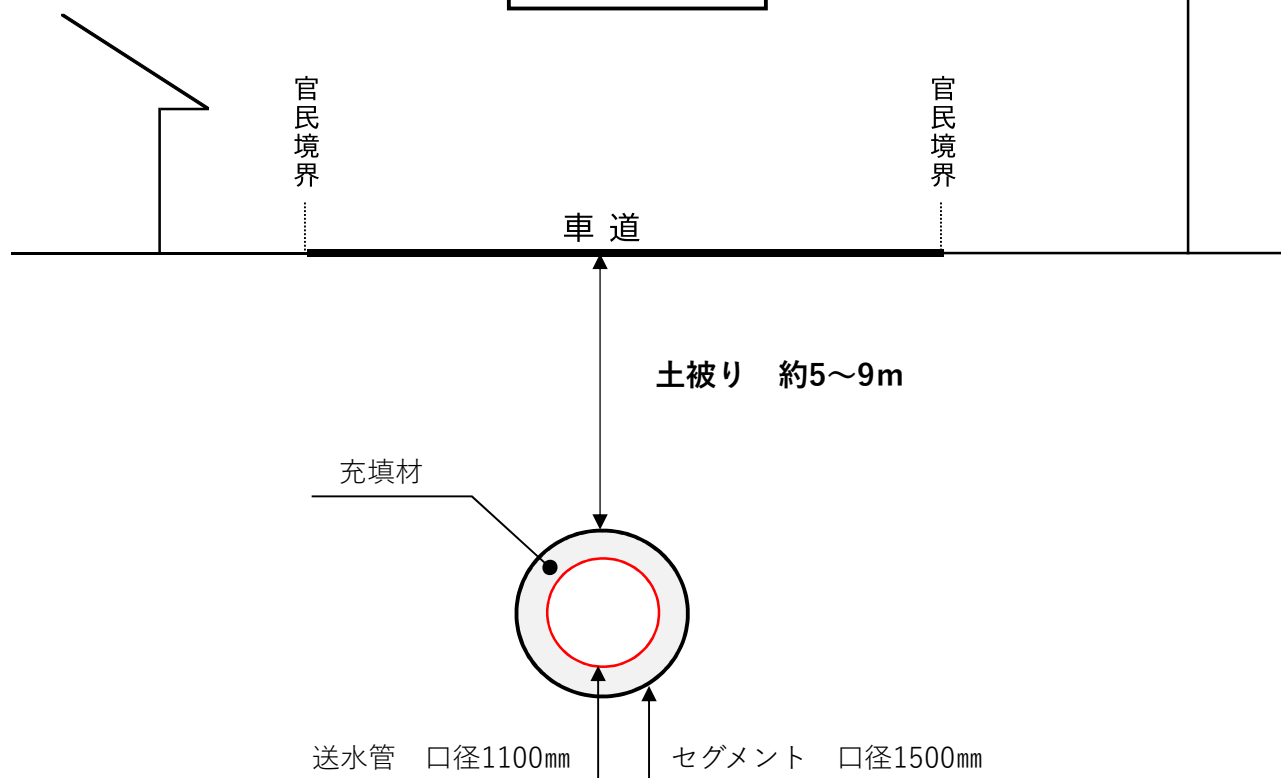


位置図

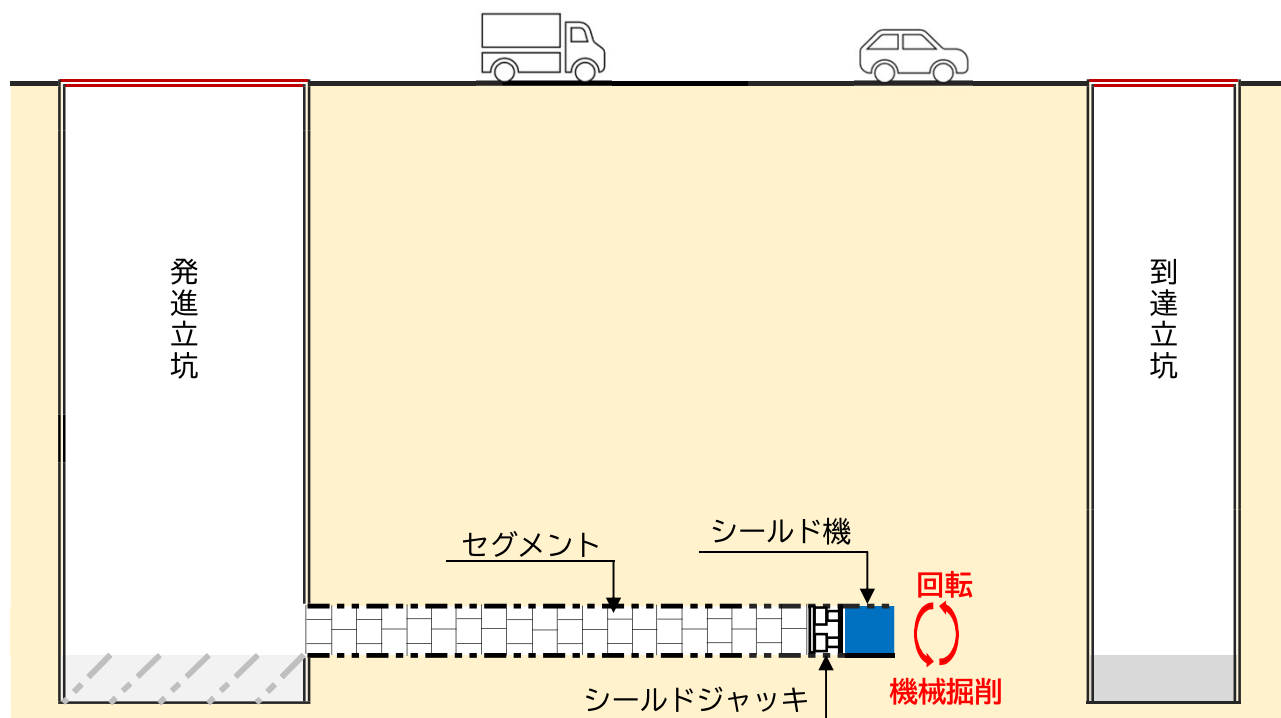


出典：（国土交通省）国土地理院ウェブサイト

横断図



シールド工法のイメージ図



海水淡水化センター高圧ROポンプ設備外更新工事

1 契約概要

工事件名	海水淡水化センター高圧ROポンプ設備外更新工事	
工事概要	本工事は、海水淡水化センターの高圧RO ポンプ設備及び付属設備を更新するもの。 (1)高圧ROポンプ設備 一式 (2)付属設備 一式	摘要
		令和8年度支払い予定額 91,938,000円
		令和9年度支払い予定額 597,597,000円
		令和10年度支払い予定額 965,349,000円
工事場所	福岡市東区大字奈多1302-122	令和11年度支払い予定額 2,758,140,000円
工事期間	令和8年3月20日から令和13年3月15日	令和12年度支払い予定額 3,248,476,000円
入札方法	総合評価落札方式による制限付一般競争入札	
開札年月日	令和8年2月16日	
契約年月日	令和8年3月19日	
落札者	協和機電工業株式会社 福岡支店	
契約価額	7,661,500,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 696,500,000円)	
予定価格	8,327,686,400円 (うち消費税及び地方消費税相当額 757,062,400円)	
失格基準価格	7,584,857,500円 (うち消費税及び地方消費税相当額 689,532,500円)	

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場外	協和機電工業株式会社 福岡支店	
地場外	株式会社神鋼環境ソリューション 九州支店	無効

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

(1)技術評価点の内訳					落札者				
評価項目					配点	名称	協和機電工業株式会社 福岡支店	名称	株式会社神鋼環境ソリューション 九州支店
						点数		点数	
提案項目	技術提案	項目①	維持管理(操作性)を考慮した高圧ROポンプ設備について [工事特性] 本工事は、エネルギー回収装置を組み込んだ高圧ROポンプ設備を更新するものであり、運転調整などの設備操作性等を考慮することが重要な工事である。	10	9.250	9.750			
		項目②	維持管理(効率性・経済性)を考慮した高圧ROポンプ設備について [工事特性] 本工事は、大型特殊機器が多く組み合わせられたものであり、効率的、かつ経済的な維持管理を考慮することが重要な工事である。	10	9.500	9.500			
		項目③	搬入・据付作業における更新機材の品質管理について [工事特性] 本工事は、重量のある大型機器及び高圧配管を設置する工事である。	10	9.750	9.000			
		項目④	現場作業員の安全対策について [工事特性] 本工事は、重量物の撤去、搬出入、据付作業を伴う工事である。	10	9.750	9.000			
	小計 a				40.0	38.250	37.250		
企業評価項目	企業の施工能力	項目⑤	工事成績の実績	4	0.800	1.866			
		項目⑥	工事成績優良業者の表彰実績	1	0.000	0.000			
		項目⑦	同種工事の施工実績	1	1.000	1.000			
		項目⑧	品質管理への取り組み	1	1.000	1.000			
	技術者の能力	項目⑨	資格の保有状況	1	1.000	1.000			
		項目⑩	同種工事の施工経験	1	0.000	1.000			
	社会貢献・地域貢献	項目⑪	本店所在地	1	0.000	0.000			
		項目⑫	社会貢献・政策貢献	2	0.000	0.500			
	社会性・企業信頼性	項目⑬	競争入札参加停止措置状況	※ (-2)	減点なし	減点なし			
	小計 b				12	3.800	6.366		
加算点 a+b				52.0	42.050	43.616			
標準点 c				100	100.000	100.000			
技術評価点A (a+b+c)				152.0	142.050	143.616			

※配点欄の企業の信頼性・社会性(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除く価格)	6,965,000,000	無効
------------------------------------	---------------	----

(3)評価値

評価値 A/B×α (αは数値調整のための係数) (予定価格が10億円以上の場合、α=1,000,000,000)	20.3948	—
--	---------	---

3 落札者の技術提案の概要

項目1	維持管理(操作性)を考慮した高圧ROポンプ設備について 本工事は、エネルギー回収装置を組み込んだ高圧ROポンプ設備の更新を行うものであり、その運転操作には水質等に 応じた運転調整や異常時の対処操作などの設備操作性の向上や、運転員の知識・技術の補完が重要であり、これらを踏ま えた効果的な提案がなされた。
項目2	維持管理(効率性・経済性)を考慮した高圧ROポンプ設備について 本工事で更新する高圧ROポンプ設備は大型特殊機器が多く組み合わせられたものであり、将来にわたって施設の維持管 理を効率的、かつ経済的に行うためには、点検・修繕等の作業性向上による省力化や状態監視保全等による効率化、及び エネルギー回収装置の機能を最大限に発揮して消費電力を抑制することが重要であり、これらを踏まえた効果的な提案 がなされた。
項目3	搬入・据付作業における更新機材の品質管理について 本工事は、重量のある大型機器及び高圧配管を設置する工事であり、稼働中の機器等と近接した狭く限られた作業ス ペースでの施工を伴うことから、搬入・据付作業における更新機材の品質管理が重要であり、これらを踏まえた効果的な 提案がなされた。
項目4	現場作業員の安全対策について 本工事は、重量物の撤去、搬出入、据付作業を伴う工事であり、作業者と重量物との接触を防止するなど現場作業員の 安全対策が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

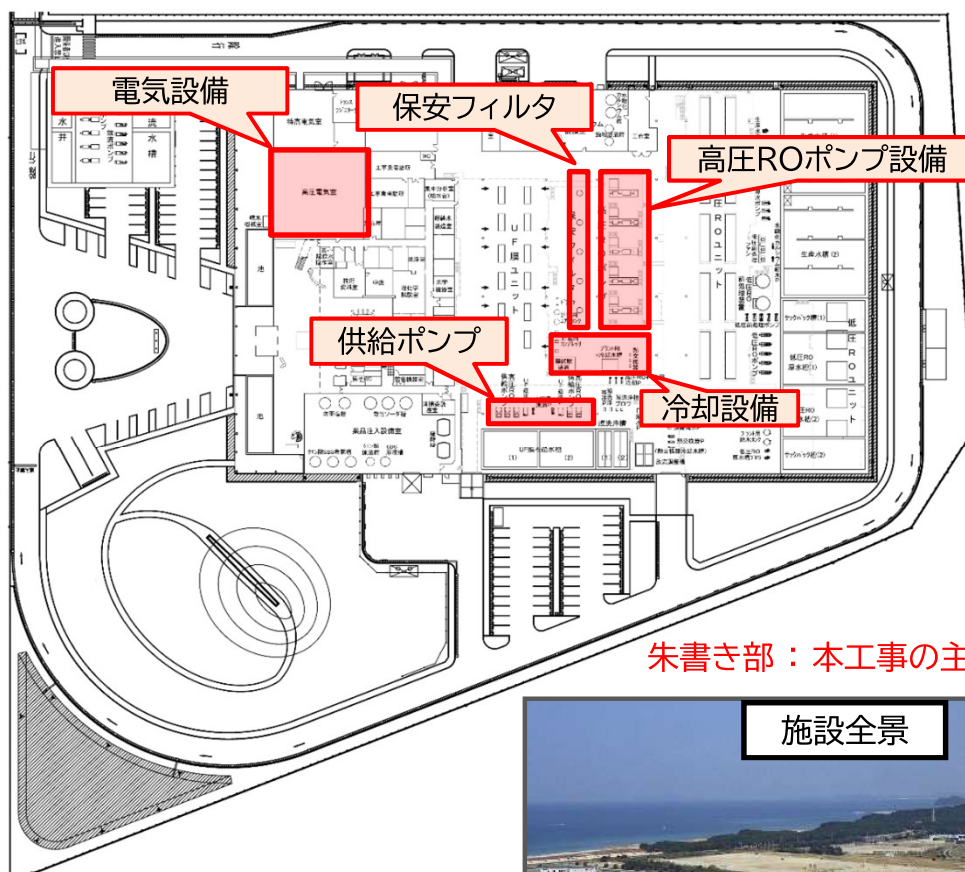
(参考)評価項目の内容

評価項目		評価内容
企業の 施工能力	工事成績の実績	H27年4月1日～R7年11月5日の間に、福岡地区水道企業団及び構成団体が 認定通知した機械工事の任意3件の平均点によって評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	工事成績優良業者の表彰実績	R5年11月6日～R7年11月5日の間に、福岡地区水道企業団及び構成団体が 機械工事において、工事成績優良業者として表彰の対象である旨通知した 工事の実績により評価する。 ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の 措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	同種工事の施工実績	H27年4月1日～R7年11月5日の間に竣工した水道法に基づく水道施設、 河川法に基づく排水機場または下水道法に基づく終末処理場もしくはポンプ 場におけるポンプ設備(吸込口径φ300mm以上)の新設、増設または更新工 事の施工実績により評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	品質管理への取り組み	入札公告日時点で、ISO9001の取得があれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技術 者の 能力	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者 証の保有期間により評価する。
	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者にH27年4月1日～R7年11月5日の間に 竣工した水道法に基づく水道施設、河川法に基づく排水機場または下水道法 に基づく終末処理場もしくはポンプ場におけるポンプ設備(吸込口径φ 300mm以上)の新設、増設または更新工事の施工経験(監理技術者、主任 技術者、現場代理人での従事に限る)があれば優位に評価する。
社会 域貢 献・ 社 会 貢 献	本店所在地	入札公告日時点で、本店が福岡都市圏(10市7町)に所在し、かつ、当企業団 競争入札有資格者名簿(工事)に記載された期間が長い企業を優位に評価す る。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	社会貢献・政策貢献	入札公告日時点で、「障がい者雇用」、「環境保全」、「保護観察対象者等の雇 用」、「消防団協力支援」の取り組みを行っている企業を評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信企 社業 性・ 性・	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加 停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間に係 る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点と する)

位置図



海水淡水化センター平面図

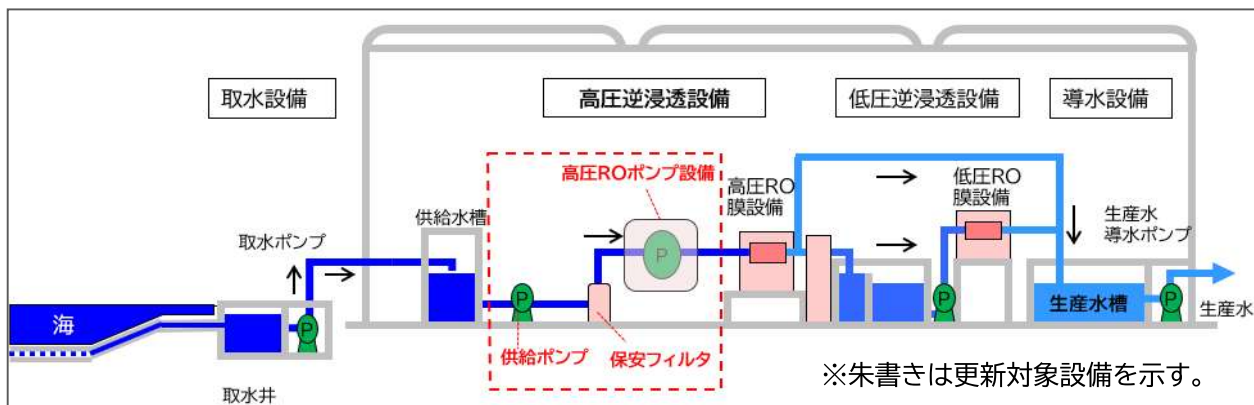


朱書き部：本工事の主な対象箇所

施設全景



海水淡水化センターフロー図



主な更新対象設備



高圧ROポンプ設備

海水に高い圧力をかけて高圧RO膜設備へ送水するためのポンプとエネルギー回収装置を組み合わせた設備



供給ポンプ

海水を保安フィルタを介して高圧ROポンプまで供給するためのポンプ



保安フィルタ

異物から高圧ROポンプを保護するためのフィルタ



電気設備

高圧ROポンプや付帯設備へ電気を供給するための設備

海水淡水化センター監視制御設備更新工事

1 契約概要

工事件名	海水淡水化センター監視制御設備更新工事	
工事概要	本工事は、海水淡水化センターの監視制御設備を更新するもの。 監視制御設備一式	摘要
		・令和8年度支払い予定額 92,400,000円 ・令和9年度支払い予定額 817,740,000円
		・令和10年度支払い予定額 629,860,000円
工事場所	福岡市東区大字奈多1302-122	
工事期間	令和8年3月4日から令和10年9月25日	
入札方法	総合評価方式による制限付一般競争入札	
開札年月日	令和8年2月16日	
契約年月日	令和8年3月3日	
落札者	株式会社日立製作所 九州支社	
契約価額	1,540,000,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 140,000,000円)	
予定価格	1,570,747,200円 (うち消費税及び地方消費税相当額 142,795,200円)	
失格基準価格	1,430,636,900円 (うち消費税及び地方消費税相当額 130,057,900円)	

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場外	シンフォニアテクノロジー株式会社 九州支店	辞退
地場外	株式会社東芝 九州支社	辞退
地場外	メタウォーター株式会社 九州営業部	辞退
地場外	株式会社日立製作所 九州支社	
地場外	三菱電機株式会社 九州支社	辞退

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

(1)技術評価点の内訳					落札者		
評価項目					配点	名称	株式会社日立製作所九州支社
						点数	
提案項目	技術提案	項目①	電気設備の確実な切替について [工事特性] 本工事は、海水淡水化センターの監視制御設備の更新を行うものであり、コントローラごとに一定期間機能を停止させながら、新旧切替を行う工事である。	10	10.000		
		項目②	運転停止期間中における維持管理に配慮した施工について [工事特性] 本工事は、共通系コントローラの切替時に施設の運転停止を伴うが、一部の設備については稼働させたまま実施する必要がある工事である。	10	10.000		
	小計 a				20.0	20.000	
企業評価項目	企業の施工能力	項目③	工事成績の実績	4	3.067		
		項目④	工事成績優良業者の表彰実績	1	1.000		
		項目⑤	同種工事の施工実績	1	1.000		
		項目⑥	品質管理への取り組み	1	1.000		
	技術者の能力	項目⑦	資格の保有状況	1	1.000		
		項目⑧	同種工事の施工経験	1	0.000		
	社会貢献・地域貢献	項目⑨	本店所在地	1	0.000		
		項目⑩	社会貢献・政策貢献	2	0.000		
	信頼性・社会的責任	項目⑪	競争入札参加停止措置状況	※ (-2)	減点なし		
	小計 b				12	7.067	
加算点 a+b				32.0	27.067		
標準点 c				100	100.000		
技術評価点A (a+b+c)				132.0	127.067		

※配点欄の企業の信頼性・社会的責任(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除く価格)	1,400,000,000
------------------------------------	---------------

(3)評価値

評価値 $A/B \times \alpha$ (α は数値調整のための係数) (予定価格が10億円以上の場合、 $\alpha=1,000,000,000$)	90.7621
--	---------

3 落札者の技術提案の概要

項目1	電気設備の確実な切替について 本工事は、海水淡水化センターの監視制御設備の更新を行うものであり、コントローラごとに一定期間機能を停止させながら新旧設備の切替を行うため、切替後の運転に影響が出ないように、確実に切替作業を実施することが重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。
項目2	運転停止期間中における維持管理に配慮した施工について 本工事で更新を行う共通系コントローラは、切替時に施設の運転停止を伴う作業が必要となるが、一部設備は稼働させたまま実施する必要があることから、維持管理業務に配慮した施工が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

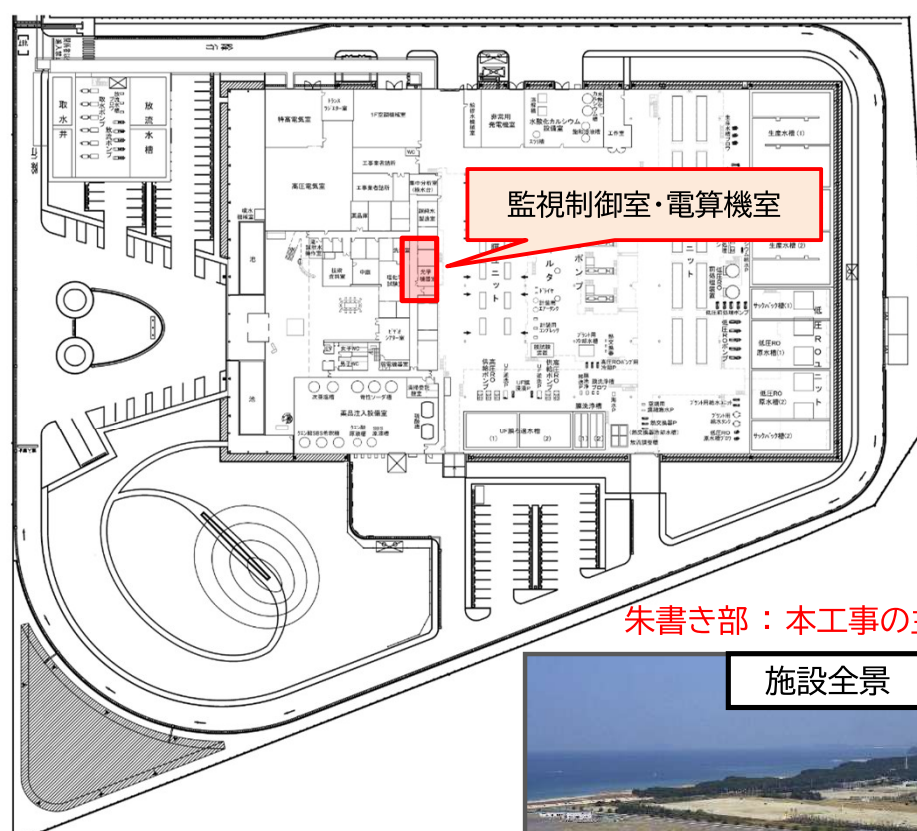
(参考)評価項目の内容

評価項目		評価内容
企業の施工能力	工事成績の実績	H27年4月1日～R7年11月5日の間に、福岡地区水道企業団及び構成団体が評定通知した電気工事の任意3件の平均点によって評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	工事成績優良業者の表彰実績	R5年11月6日～R7年11月5日の間に、福岡地区水道企業団及び構成団体が電気工事において、工事成績優良業者として表彰の対象である旨通知した工事の実績により評価する。 ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	同種工事の施工実績	H27年4月1日～R7年11月5日の間に竣工した水道法で規定する浄水処理能力50,000m ³ /日以上浄水施設における監視制御設備(分散制御方式)の新設または更新工事の施工実績により評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	品質管理への取り組み	入札公告日時点で、ISO9001の取得があれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技術者の能力	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者証の保有期間により評価する。
	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者にH27年4月1日～R7年11月5日の間に竣工した水道法で規定する浄水処理能力50,000m ³ /日以上浄水施設における監視制御設備(分散制御方式)の新設または更新工事の施工経験(監理技術者、主任技術者、現場代理人での従事に限る)があれば優位に評価する。
社会地域貢献・	本店所在地	入札公告日時点で、本店が福岡都市圏(10市7町)に所在し、かつ、当企業団競争入札有資格者名簿(工事)に登録された期間が長い企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	社会貢献・政策貢献	入札公告日時点で、「障がい者雇用」、「環境保全」、「保護観察対象者等の雇用」、「消防団協力支援」の取り組みを行っている企業を評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信企社頼業会性の性・	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間に係る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点とする)

位置図



海水淡水化センター 平面図



朱書き部：本工事の主な対象箇所

施設全景



海水淡水化センター監視制御設備更新工事の概要

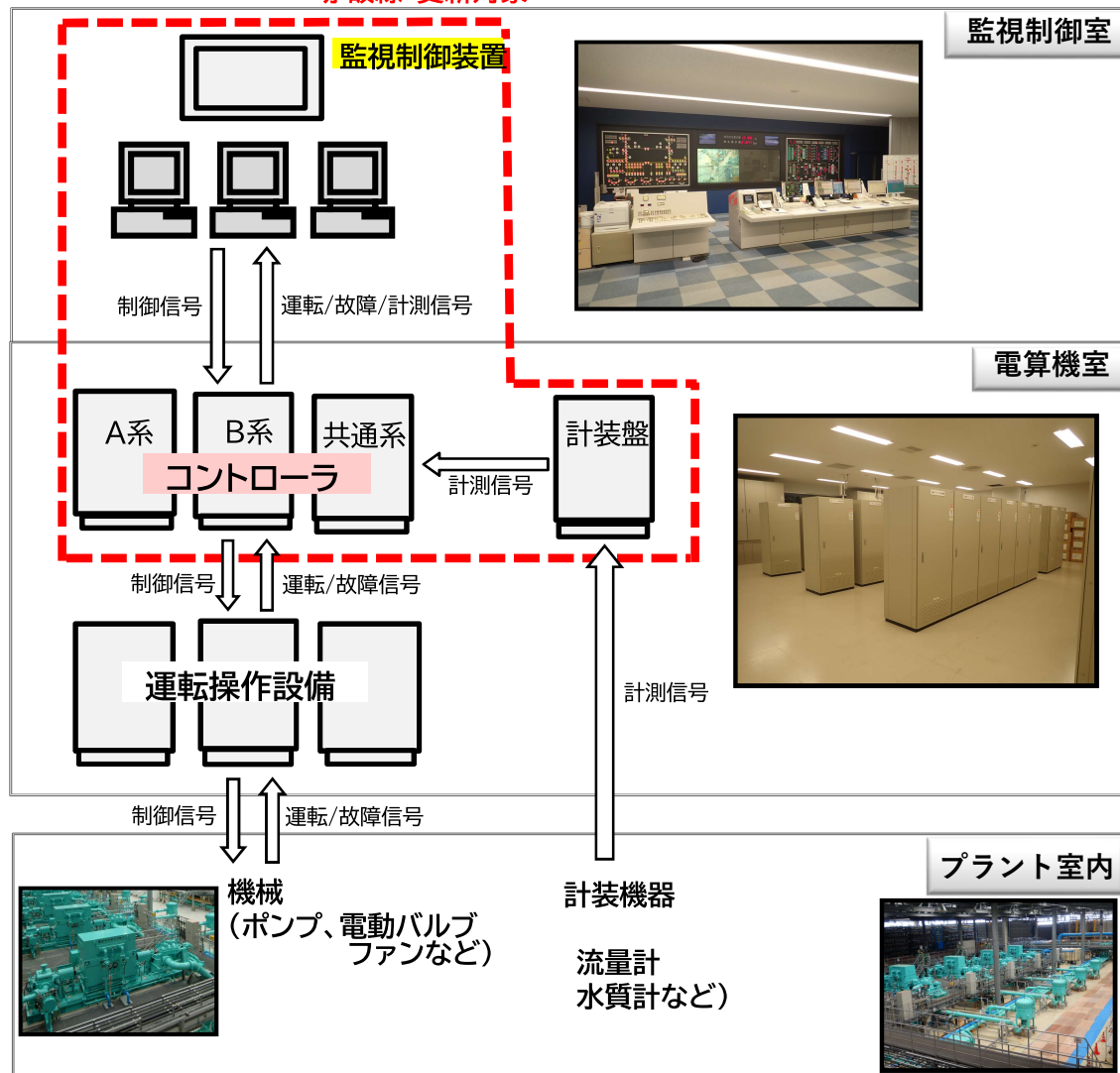
【監視制御設備とは】

施設全体の稼働状況を監視し、ポンプなどの各種機械を操作するための設備である。また、機器の運転状況や故障の記録、水位・流量・水質といった計測データの保存も行う。

施設を管理・運転するうえで重要な役割を持つ設備である。

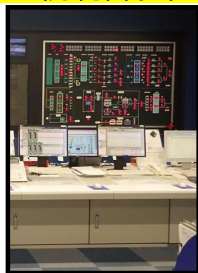
【更新工事の概要】

赤破線:更新対象



【主な更新機器】

○監視制御装置



運転操作員が、施設の運転状況の把握や機器の運転操作を行うもの。

○コントローラ



ポンプなどの機械の運転信号、故障信号や計装機器の計測信号を現場から集約し、監視制御装置に送るもの。
また、内部のプログラムにより機械の自動運転を行う。

多々良混合施設監視制御設備更新工事

1 契約概要

工事件名	多々良混合施設監視制御設備更新工事	
工事概要	本工事は、多々良混合施設の監視制御設備を更新するもの。 監視制御設備 一式	摘要
		・令和8年度支払い予定額 47,401,000円
		・令和9年度支払い予定額 383,961,000円
		・令和10年度支払い予定額 358,683,124円
工事場所	糟屋郡粕屋町戸原北二丁目2番1号	
工事期間	令和8年3月4日から令和10年9月25日	
入札方法	総合評価方式による制限付一般競争入札	
開札年月日	令和8年2月16日	
契約年月日	令和8年3月3日	
落札者	メタウォーター株式会社 九州営業部	
契約価額	790,045,124円	(うち消費税及び地方消費税相当額 71,822,284円)
予定価格	858,744,700円	(うち消費税及び地方消費税相当額 78,067,700円)
失格基準価格	782,145,100円	(うち消費税及び地方消費税相当額 71,104,100円)

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場外	シンフォニアテクノロジー株式会社 九州支店	辞退
地場外	株式会社東芝 九州支社	辞退
地場外	メタウォーター株式会社 九州営業部	
地場外	三菱電機株式会社 九州支社	辞退

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

(1)技術評価点の内訳					落札者	
評価項目				配点	名称	メタウォーター株式会社 九州営業部
					点数	
提案項目	技術提案	項目①	電気設備の確実な切替について [工事特性] 本工事は、多々良混合施設の監視制御設備の更新を行うものであり、コントローラ切替時、一定期間機能を停止させながら、新旧切替を行う工事である。	10	10.000	
		項目②	運転停止期間中における維持管理に配慮した施工について [工事特性] 本工事は、コントローラの切替時に施設の運転停止を伴うが、一部設備については稼働させたまま実施する必要がある工事である。	10	10.000	
	小計 a			20.0	20.000	
	企業評価項目	企業の施工能力	項目③	工事成績の実績	4	0.534
項目④			工事成績優良業者の表彰実績	1	0.000	
項目⑤			同種工事の施工実績	1	1.000	
項目⑥			品質管理への取り組み	1	1.000	
技術者の能力		項目⑦	資格の保有状況	1	0.000	
		項目⑧	同種工事の施工経験	1	0.000	
社会貢献・地域貢献		項目⑨	本店所在地	1	0.000	
		項目⑩	社会貢献・政策貢献	2	0.000	
信頼性・社会性・企業性		項目⑪	競争入札参加停止措置状況	※ (-2)	減点なし	
小計 b			12	2.534		
加算点 a+b			32.0	22.534		
標準点 c			100	100.000		
技術評価点A (a+b+c)			132.0	122.534		

※配点欄の企業の信頼性・社会性(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除く価格)	718,222,840
------------------------------------	-------------

(3)評価値

評価値 $A/B \times \alpha$ (α は数値調整のための係数) (予定価格が10億円未満の場合、 $\alpha=100,000,000$)	17.0607
--	---------

3 落札者の技術提案の概要

項目1	電気設備の確実な切替について 本工事は、多々良混合施設の監視制御設備の更新を行うものであり、コントローラ切替時、一定期間機能を停止させながら新旧設備の切替を行うため、切替後の運転に影響が出ないように、確実に切替作業を実施することが重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。
項目2	運転停止期間中における維持管理に配慮した施工について 本工事で更新を行うコントローラは、切替時に施設の運転停止を伴う作業が必要となるが、一部設備は稼働させたまま実施する必要があることから、維持管理業務に配慮した施工が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

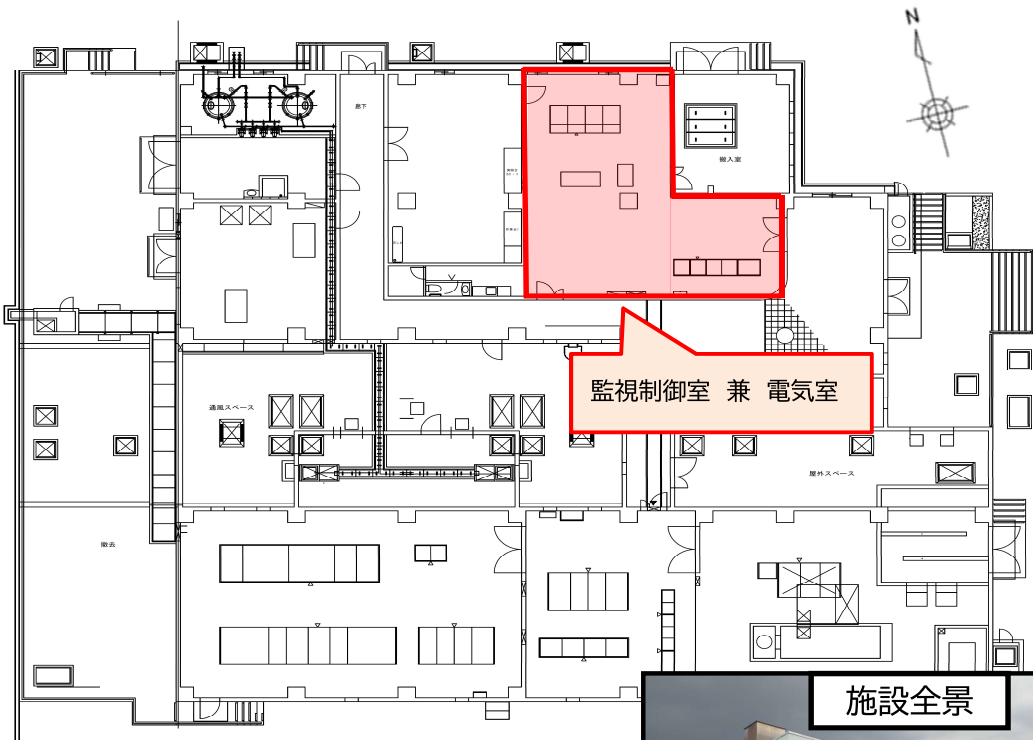
(参考)評価項目の内容

評価項目		評価内容
企業の施工能力	工事成績の実績	H27年4月1日～R7年11月5日の間に、福岡地区水道企業団及び構成団体が評定通知した電気工事の任意3件の平均点によって評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	工事成績優良業者の表彰実績	R5年11月6日～R7年11月5日の間に、福岡地区水道企業団及び構成団体が電気工事において、工事成績優良業者として表彰の対象である旨通知した工事の実績により評価する。 ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	同種工事の施工実績	H27年4月1日～R7年11月5日の間に竣工した水道法で規定する浄水処理能力50,000m ³ /日以上浄水施設における監視制御設備の新設または更新工事の施工実績により評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	品質管理への取り組み	入札公告日時点で、ISO9001の取得があれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技術者の能力	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者証の保有期間により評価する。
	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者にH27年4月1日～R7年11月5日の間に竣工した水道法で規定する浄水処理能力50,000m ³ /日以上浄水施設における監視制御設備の新設または更新工事の施工経験(監理技術者、主任技術者、現場代理人での従事に限る)があれば優位に評価する。
社会貢献・地域貢献	本店所在地	入札公告日時点で、本店が福岡都市圏(10市7町)に所在し、かつ、当企業団競争入札有資格者名簿(工事)に登載された期間が長い企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	社会貢献・政策貢献	入札公告日時点で、「障がい者雇用」、「環境保全」、「保護観察対象者等の雇用」、「消防団協力支援」の取り組みを行っている企業を評価する。 (JV案件:各構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信企社頼業会性の性	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間に係る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点とする)

位置図



多々良混合施設平面図



朱書き部：本工事の主な対象箇所



多々良混合施設監視制御設備更新工事の概要

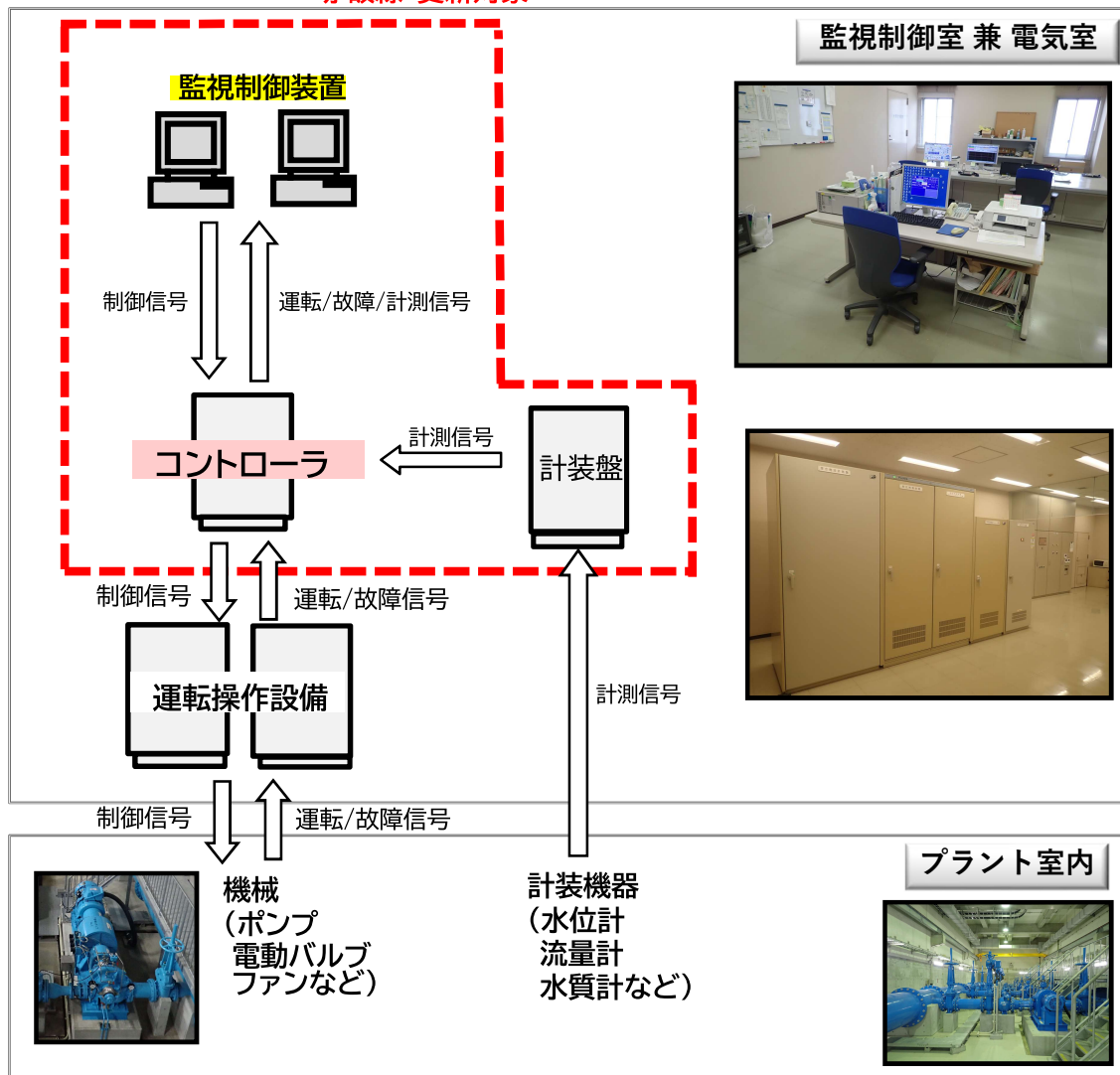
【監視制御設備とは】

施設全体の稼働状況を監視し、ポンプなどの各種機械を操作するための設備である。また、機器の運転状況や故障の記録、水位・流量・水質といった計測データの保存も行う。

施設を管理・運転するうえで重要な役割を持つ設備である。

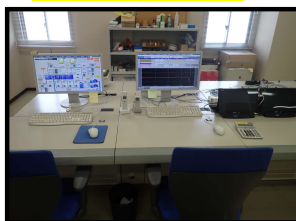
【更新工事の概要】

赤破線:更新対象



【主な更新機器】

○監視制御装置



運転操作員が、施設の運転状況の把握や機器の運転操作を行うもの。

○コントローラ



ポンプなどの機械の運転信号、故障信号や計装機器の計測信号を現場から集約し、監視制御装置に送るもの。
また、内部のプログラムにより機械の自動運転を行う。

(参考) 総合評価方式 (技術提案型) の実施状況について

1. 導入経緯、概要

- 総合評価方式とは、価格に加えて品質を含めた総合的な評価により落札者を決定する入札方法で、工事の品質確保や企業の技術力向上に有効とされており、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の施行（平成 17 年 4 月）を機に、全国的に導入が進められている。
- 当企業団においては、平成 30 年度より本方式を試行導入し、一定規模以上の公共工事の中から選定した工事に関して、施工上の工夫等の技術提案を求めている（標準型）が、その一方で、標準的な施工方法を上回る提案は、全て同じ加算点としていることから、結果として企業の施工能力・経験と入札価格で落札者が決定することが多かった。
- これまでの試行結果を踏まえ、より技術力を評価して落札者を決定する必要性が高まっていたことから、令和 6 年度に先行事例調査、関連業界へのヒアリング等、制度見直しに向けた検討を進め、令和 6 年 11 月の当委員会においてその結果や見直しの方向性について、令和 7 年第 1 回議会において具体的な改定案について、それぞれ報告の上、令和 7 年 4 月より新たに技術提案型の試行運用を開始した。
- 今回、総合評価方式（技術提案型）の試行運用初年度となる令和 7 年度の実施状況について報告するもの。

2. 令和 7 年度における総合評価方式の実施

(1) 対象工事（いずれも技術提案型）

工事件名	予定価格(税込)	工事期間	目的・概要
夫婦石系片縄地区 送水管布設工事	1,573,266,200円	令和8年3月 から 令和10年3月 まで	管路の耐震化を図るため、送水管を新設するもの。 口径 1100mm、延長625m シールド工・開削工 1 式
海水淡水化センター 監視制御設備 更新工事	1,570,747,200円	令和8年3月 から 令和10年9月 まで	設備の老朽化対策のため、監視制御装置等を更新するもの。 監視制御装置、コントローラ、計装盤等の更新 1 式
多々良混合施設 監視制御設備 更新工事	858,744,700円	令和8年3月 から 令和10年9月 まで	設備の老朽化対策のため、監視制御装置等を更新するもの。 監視制御装置、コントローラ、計装盤等の更新 1 式
海水淡水化センター 高圧ROポンプ設備外 更新工事	8,327,686,400円	令和8年3月 から 令和13年3月 まで	設備の老朽化対策のため、高圧ROポンプ等を更新するもの。 高圧RO※ポンプ、エネルギー回収装置、付属機器等の更新 1 式（5 系統）※RO…逆浸透

(2) スケジュール

- 公 告：令和 7 年 11 月 6 日
- 契約締結：令和 8 年 3 月（予定）
- 議会報告：令和 8 年 8 月（予定）

2 「長期財政収支見通し 2027（仮称）」の策定及び「水道ビジョン 2018」の一部改訂について

（1）概要

当企業団では、「水道ビジョン」、「長期財政収支見通し」及び「財政収支計画」を経営戦略と位置づけ、これに基づき、毎年度の予算や運営方針を策定し、事業を推進している。

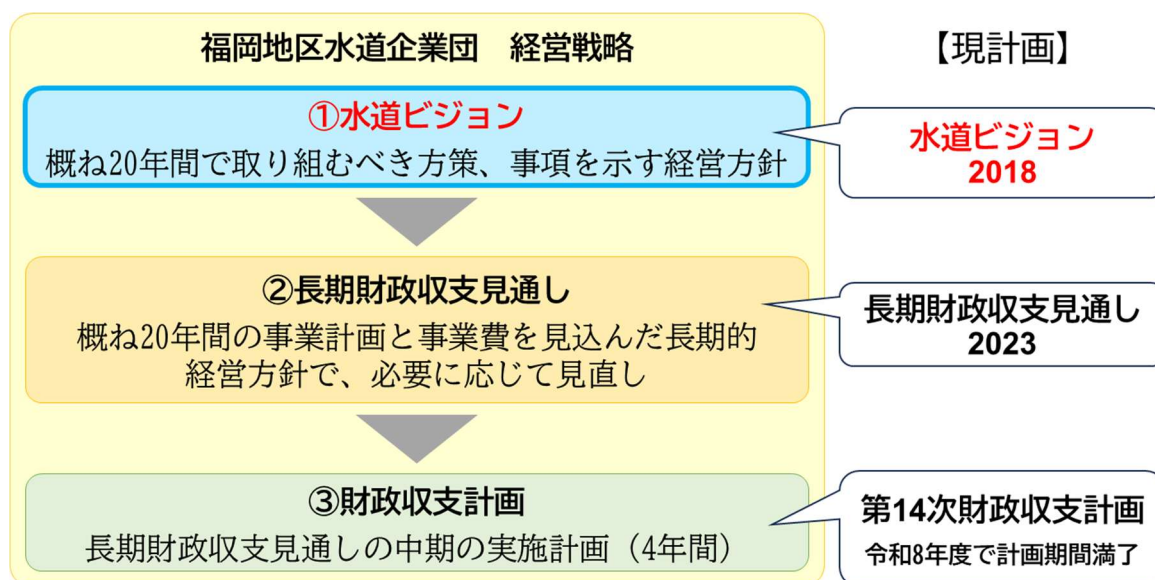


図-1 経営戦略の体系

現第14次財政収支計画の期間満了に伴い、令和8年度末までに第15次財政収支計画を策定する必要があるが、当企業団を取り巻く環境は近年大きく変化している。

このため、第15次財政収支計画の策定と合わせて、長期財政収支見通し 2027（仮称）の策定及び水道ビジョン 2018 の一部改訂を行うもの。

年度	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030		R19 2037
各種計画	水道ビジョン2018【令和9年3月 一部改訂】													
	長期財政収支見通し2018 (R1～R19)													
					長期財政収支見通し2023 (R5～R19)									
									長期財政収支見通し2027（仮称）					
	第13次財政収支計画				第14次財政収支計画				第15次財政収支計画					

図-2 経営戦略の計画期間

(2) 水道ビジョンの振り返り

テーマ毎に施策目標を掲げ、着実に取組を推進し、水道用水の安定供給に努めている。

基本理念：福岡都市圏の安心で快適な住民生活と持続的な発展を支える水道

テーマ・区分			施策目標
持続	運営基盤	施設	施設の健全性の確保、安全性・経済性の向上
			環境負荷軽減対策の推進
		経営	健全な財政基盤の維持及びさらなる経営の効率化
			将来の投資に備えた効率的な資金確保
	人的資源	安定した運営の確保のための技術力の維持・向上 及び企業団経営に精通した職員の確保	
	水源・安定供給		利水安全度を考慮した安定供給の継続
	信頼・連携		水源地域や水道利用者等との信頼関係の醸成
			企業団と構成団体とが課題を共有し、連携して解決
安全	水源・水質の保全		環境変化等に対応できる浄水処理・水質管理体制の充実
			水源水質の保全活動の推進
強靱	災害時・緊急時対策		災害時にも対応できる強靱な施設の構築
			非常時にも事業を継続できる組織と計画づくり



写真-1 脱水ケーキ



写真-2 筑後川3企業団 合同視察

取組状況	長期財政収支見通し 2023 主要事業
職員や委託業者の保守点検等により、施設を適切に維持管理しつつ、修繕による延命化を図り、施設を効率的・効果的に維持	① 海淡水化施設の設備更新 ② 牛頸浄水場の改良・更新
牛頸浄水場の浄水処理過程で発生した汚泥（脱水ケーキ）を、土壌改良材やセメント原料としてリサイクルし有効活用〈写真-1〉	
4年ごとに「財政収支計画」を策定し、計画に基づき経営管理を実施	
設備を適切に点検・修理し、延命化によるライフサイクルコストの削減を図り、更新計画を見直すことで、資金需要を平準化	
職員研究発表会の実施や外部研修会への積極的な参加により、企業団の安定運営に必要な技術・知識を向上〈写真-2〉	
3ダムを1つの貯水池とする運用を試行することにより、関係者間で水を有効活用し、水源を確保	
福岡都市圏の水道水の約3分の1が筑後川の恵みに支えられていることに感謝し、流域の方々と様々な交流事業を実施〈写真-3〉	
牛頸浄水場および福岡市水道局の乙金浄水場において緊急時対応や技術交流に関する協定を締結し、相互連携体制を構築	
残留塩素濃度の低下事象等に対応するため、脱水機や塩素注入設備、水質監視装置の増設等を行い、水質の安全性を確保	③ 水質管理機能の強化
水源かん養林の保全活動や河川美化活動への参加など、水源地域の自治体や関係機関と連携し、水源水質を保全〈写真-4〉	
管路整備計画に基づき、送水管路の耐震化・二重化等を進めるとともに、福岡導水施設の老朽化対策及び耐震化を推進	④ 管路の耐震化 ⑤ 福岡導水施設地震対策事業
災害マニュアル及び事業継続計画の更新や合同訓練による災害対応力の向上	



写真-3 筑後川の恵みフェスティバル



写真-4 朝倉市での植林

(3) 長期財政収支見通しの振り返り

1) 主要事業

長期財政収支見通し等において主要事業と位置づけ、施設の改良・更新、耐震化事業を推進している。

① 海淡水化施設の設備更新（事業期間：令和4年度～令和18年度）

供用開始後約20年が経過したため、更新時期を迎えた機器の更新を行うもの

- ✓ 工事スケジュールを見直したことにより、第14次財政収支計画期間の決算額は減少したものの、全体の事業期間に影響はない
- ✓ UF膜による前処理の省略など、更なるコスト縮減と効率化を図っている
- ✓ 物価上昇の影響等により、今後事業費が増額となる可能性がある

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
財政収支計画	196	1,526	2,623	2,832
決算（R8年度は予算）	72	548	690	1,204
差額	△4,663			



写真-5 高圧RO膜設備の更新（海淡水施設）

② 牛頸浄水場の改良・更新

更新時期を迎えた機器の更新を行うもの

- ✓ 更新対象設備について、機器の修繕による延命化を行い、事業費は計画よりも減少
- ✓ 事業は概ね計画どおり進捗

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
財政収支計画	749	1,113	1,058	677
決算（R8年度は予算）	975	477	698	1,075
差額	△372			



写真-6 電気設備の更新工事（牛頸浄水場）

③ 水質管理機能の強化（事業期間：令和5年度～令和9年度）

残留塩素濃度低下事象や送水管路の二重化等による送水環境の変化に対応するため、水質監視装置や脱水機の増設を行うもの

- ✓ 工事内容の見直しに伴い、事業費は計画よりも減少
- ✓ 事業完了も前倒し（令和9年度→令和7年度）

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
財政収支計画	14	835	158	321
決算（R8年度は予算）	43	772	410	0
差額	△103			



写真-7 水質監視装置の増設（牛頸浄水場）

④ 管路の耐震化

管路整備計画に基づき、老朽化した管路の更新、大規模地震に備えた耐震化及び危機対応のための機能強化を行うもの

事業	事業期間	事業内容	整備延長
第Ⅰ期	平成27年度～令和9年度	幹線管路の耐震化（二重化等）	32.2 km
第Ⅱ期	令和10年度～	支線管路の更新・耐震化等	131.4 km

✓地元調整や現場条件の変化に伴う施工方法の見直しにより、事業に遅れが生じているほか、物価上昇等の影響により事業費が増大傾向にあるため、**事業期間及び事業費の見直しが必要**

✓令和5年度からの3年間で、耐震管8.0kmを整備し、耐震適合率は50.3%へ上昇

※耐震適合率とは、基幹管路のうち、耐震適合性のある管の占める割合をいう

また、耐震適合性のある管とは、耐震管（地震の際でも接合部が離脱しない構造となっている管）及び耐震管ではないが管路が布設された地盤によっては耐震性があると評価できる管をいう

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
財政収支計画	2,864	3,379	3,764	4,281
決算（R8年度は予算）	2,116	3,318	3,925	3,235
差額	△1,694			

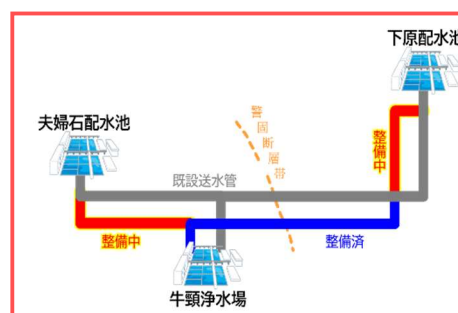


図-1 幹線管路の二重化（第Ⅰ期）

⑤ 福岡導水施設地震対策事業（事業期間：平成30年度～令和17年度）

約25kmの導水施設のうち、トンネル区間の約10kmについて、地震及び老朽化対策を行うもの（水資源機構が事業を実施し、当企業団は費用の一部を負担）

✓物価高騰等の影響により、**総事業費が増額**（290億円→520億円）

✓現場条件の変化に伴う施工方法の見直し等により、**事業期間も延期**

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
財政収支計画	1,539	1,885	2,018	2,059
決算（R8年度は予算）	1,523	1,708	1,267	1,923
差額	△1,080			



写真-8 2号トンネルの複線化（福岡導水）

2) 財政状況

収益的収支について、収入は横ばいながら、費用は物価上昇等の影響により増加傾向にあり、中長期的には厳しい経営状況となることが見込まれる。

① 収益的収支の収入（税抜き）の推移

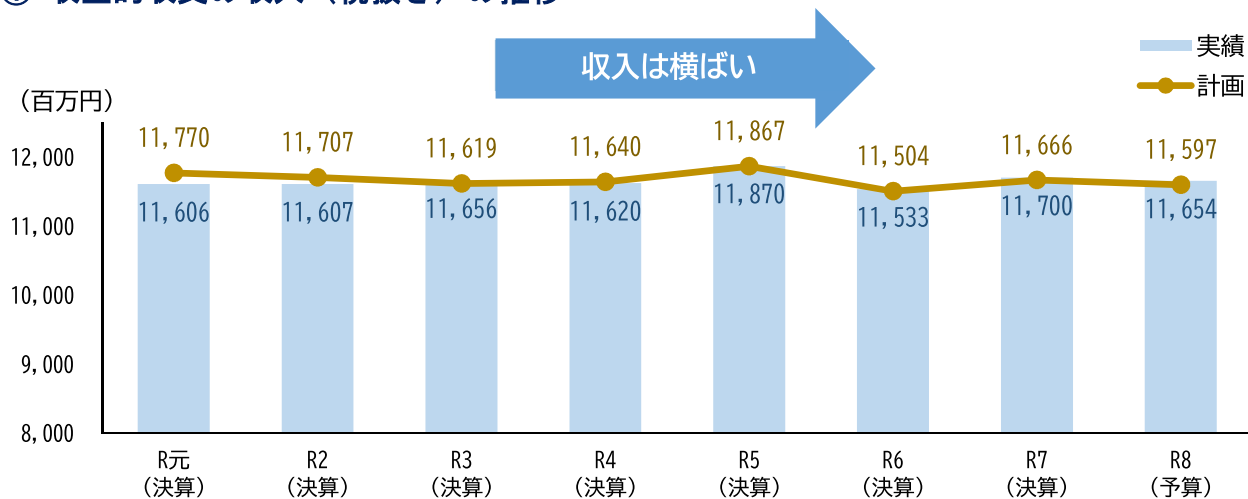


図-2 収益（収益的収支）の計画と実績

② 収益的収支の費用（税抜き）の推移

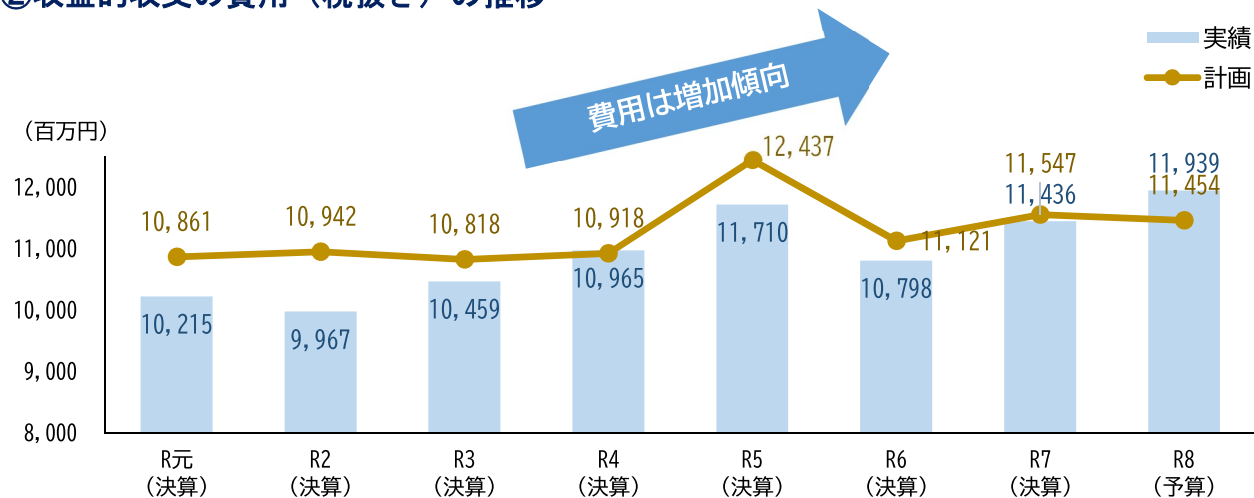


図-3 費用（収益的収支）の計画と実績

③単年度損益（税抜き）の推移

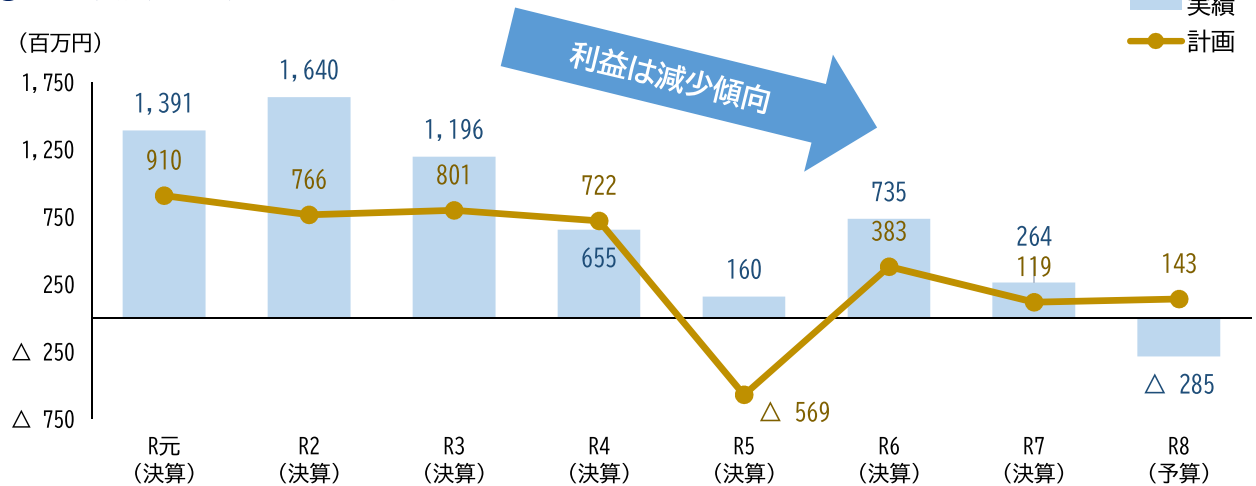


図-4 単年度損益の計画と実績

※令和4年度の利益は、過年度損益修正分の利益902百万円を含まない

④年度末資金残高の推移

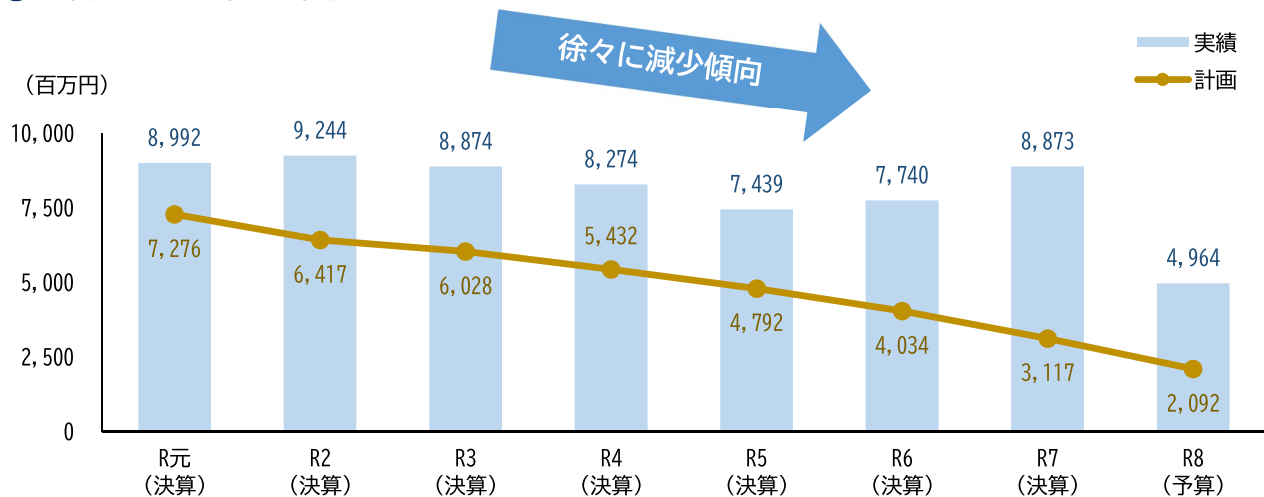


図-5 年度末資金残高の計画と実績

⑤企業債残高の推移

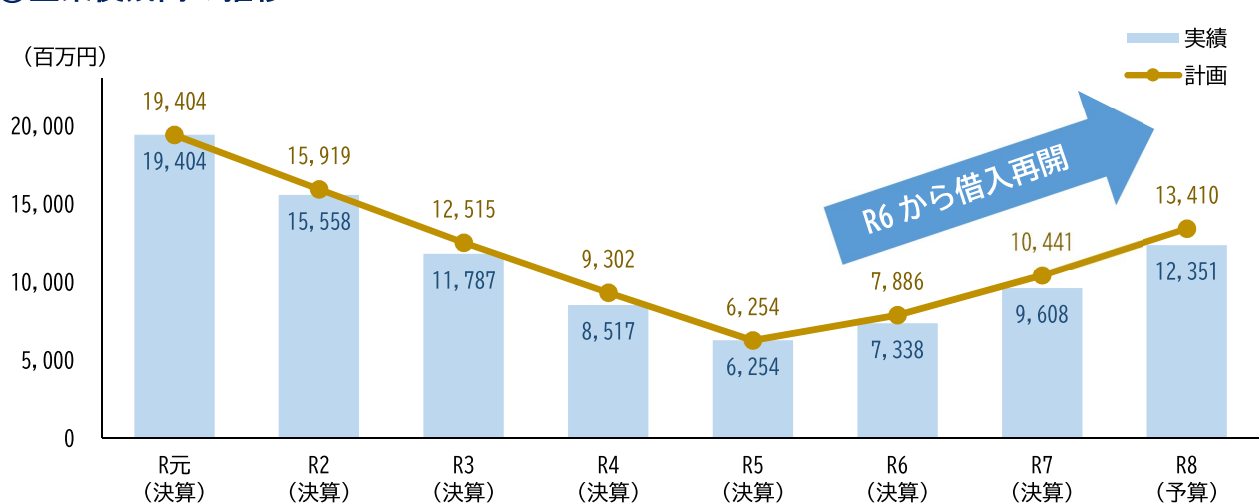


図-6 企業債残高の計画と実績

(4) 企業団を取り巻く環境

現水道ビジョンや長期財政収支見通しを策定以降、企業団を取り巻く環境は大きく変化している。

①施設の老朽化・耐震化対策

近年、全国的に地震や老朽化による送水管の破損被害が発生している。



写真-9 能登半島地震による
送水管損傷（輪島市）



写真-10 老朽化による管の破損に
伴う漏水（京都市）

⇒水道施設の耐震化及び老朽化対策に対する社会的要請の高まり

また、当企業団においては、法定耐用年数（40 年）を超過した管路が年々増加しており、A I による管路の劣化評価によれば、令和 7 年度末時点では劣化が著しく即時対応が必要な管路はないものの、約 20 年後以降には対応を必要とする管路が現れる。

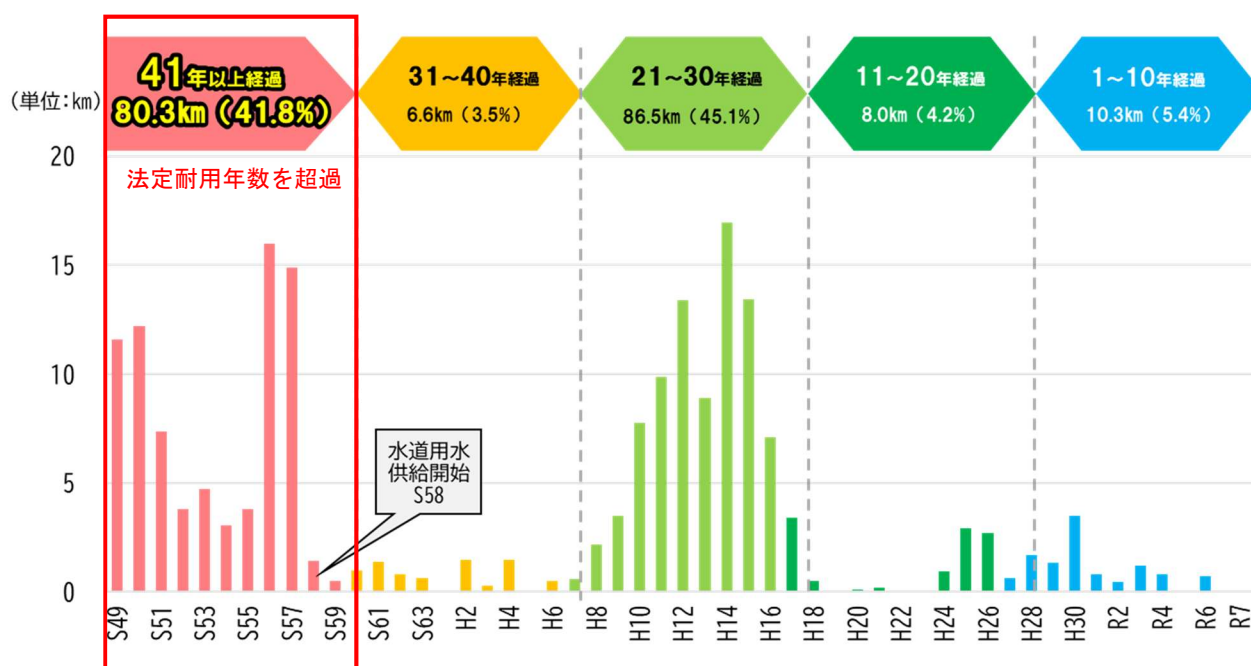


図-7 企業団布設管路の年度別整備延

② 物価上昇等による影響

近年、資材価格や労務単価等の上昇が続いている。

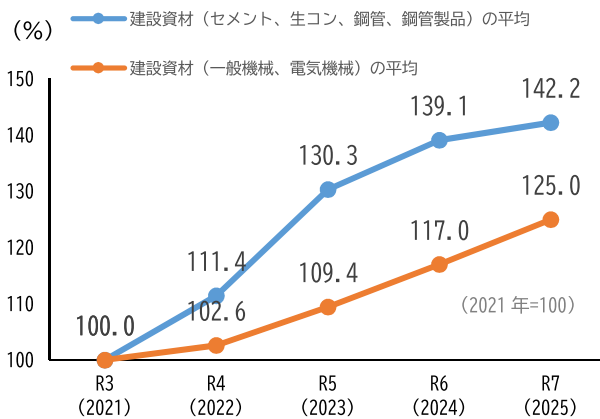


図-8 建設資材価格の推移

出典：建設物価調査会

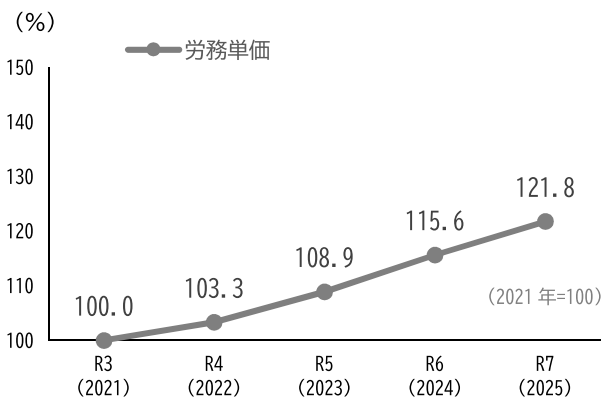


図-9 公共工事設計労務単価
全国全職種平均値の推移

出典：国土交通省

⇒事業に係る経費は増加傾向

③ デジタル技術の進展

当企業団では、業務効率化による人的資源の有効活用や業務改善を図るため、デジタル技術の活用を推進している。

- ・ 地下埋設物調査WEB申請
- ・ ドローンによる水道施設の点検
- ・ 遠隔漏水監視システム
- ・ 水質情報共有システム など

AI等の先端技術は著しく発展しており膨大なデータの蓄積や高度な分析が可能になる等、活用の可能性が拡大している。

⇒急速に発展しているデジタル技術への対応

従来の点検
(足場が必要)



現在の点検
(足場が不要)



写真-11 水管橋の点検状況

③ 脱炭素社会に向けた取り組み

地球温暖化の進行による自然災害の頻発化・激甚化など、気候変動問題が深刻化し、世界中で温室効果ガスの排出削減に向けた取り組みが進められている。

当企業団においても令和5年度に「地球温暖化対策実行計画」を策定し、様々な取組を推進している。

⇒脱炭素社会の実現に向けた取組みの強化

2つの水の塩分濃度差を利用して発電

日本初

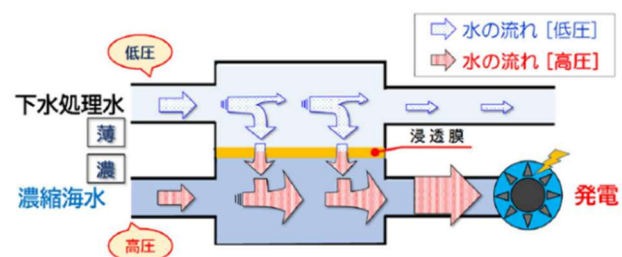


図-10 浸透圧発電の原理

⑤水質基準の見直し

有機フッ素化合物（PFAS）に含まれるPFOS及びPFOAは、自然界では殆ど分解されず、健康影響への懸念があり、令和8年度に水質基準へ格上げされた。

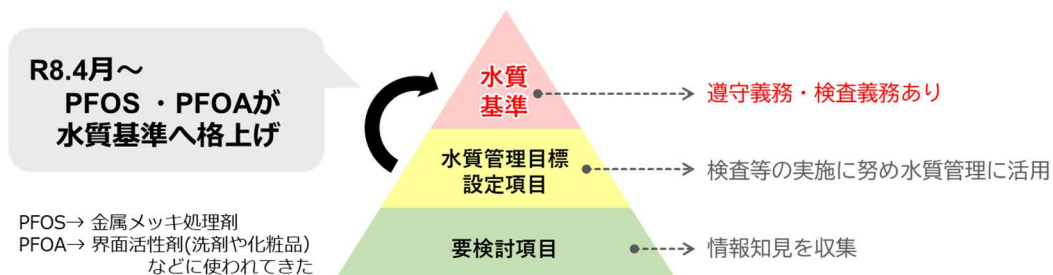


図-11 水道水質基準の体系

⇒水質基準の変化に応じた水質管理体制の強化

（５）見直しの方向性

①水道ビジョン

- ・ 3つのテーマ目標（持続・安全・強靱）を実現するために着実に事業を推進し、水道用水の安定供給に努めている。
- ・ デジタル技術の進展や脱炭素に向けた取組みの強化など、環境の変化に伴い、新たな取組みを実施している。

⇒【方向性】持続可能な水道システムの構築に向けて、**現ビジョンの基本理念及び施策体系を維持しつつ、環境の変化**を踏まえ、**見直し**を行う

②長期財政収支見通し

- ・ 今後収入は横ばいながら、費用は物価上昇等の影響により増加傾向にあり、中長期的に厳しい経営状況が見込まれる。
- ・ 水道施設の耐震化及び老朽化対策に対する社会的要望は高く、水道用水の安定供給を継続するために必要な事業を継続的に推進していく必要がある。

⇒【方向性】中長期的な経営の安定化に向けて、**経営改善の視点**を踏まえ、**次期長期財政収支見通しを策定**していく

(6) 福岡地区水道企業団 経営戦略に関する懇話会（有識者会議）の設置と主な意見

経営戦略の見直しにあたり、令和8年5月1日に「福岡地区水道企業団 経営戦略に関する懇話会（以降、懇話会）」を設置するとともに、第1回懇話会を開催し、下記のとおり有識者に意見を伺った。

① 設置の目的

経営戦略の見直しを進めていくにあたり、幅広い意見を聴取するために設置

② 委員構成

学識経験者（水道・経済）2名、専門家（公認会計士）1名、国土交通省1名、構成団体（福岡市・太宰府市）2名 計6名

③ 第1回懇話会の概要

- ・開催日時：6月23日（火）
- ・議事内容：現水道ビジョン及び長期財政収支見通しにおける振り返りと新計画の方向性について

④ 第1回懇話会における有識者の主な意見

- ・能登半島地震など災害が激甚化する中、経営面もさることながら、施設の老朽化・耐震化対策は最優先で力強く推進して欲しい。
- ・GISや3次元データなど、デジタル技術の活用については、業務の効率化に繋がるため積極的な活用を検討願いたい。

(7) 今後の進め方

引き続き、懇話会を通じて有識者に専門的な視点からご意見を伺うとともに、適宜議会へ報告、意見を伺いながら、令和8年度中に経営戦略の見直しを行う。

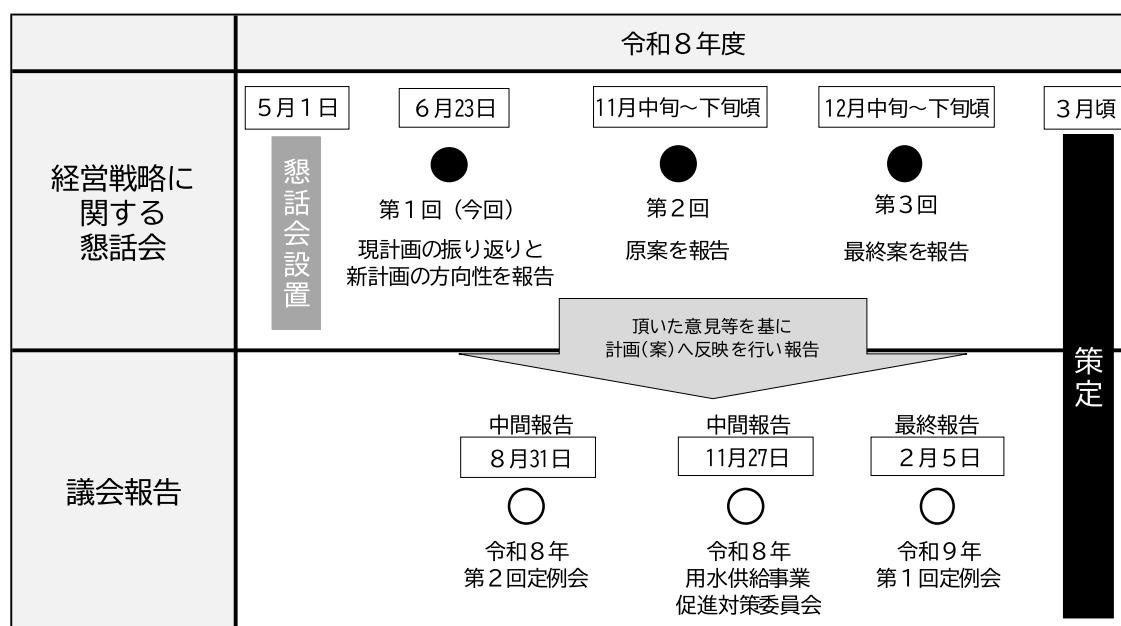


図-12 経営戦略 見直しに関するスケジュール

3 渇水対応のふりかえり

(1) 水源の状況

- ・筑後川流域では令和7年9月以降、少雨傾向が続き、特に10月～2月の降雨量は平年比の46%にとどまっていた。
- ・11月4日以降、企業団関連ダム※1からの放流が続いた結果、2月25日時点の貯水率は小石原川ダムが供用開始された令和3年10月以降で最も低い9.9%を記録した。
- ・2月末以降の降雨により徐々に回復し、6月末からのまとまった降雨により、7月13日には87.8%に回復した。

表1 筑後川流域（瀬の下上流域平均）の降雨状況（7月13日現在） (mm)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平年値※2	152.9	174.4	412.8	444.3	232.5	201.0	98.0	86.6	65.4	66.1	87.8	134.7	2,156.5
R5年度	187.1	310.3	436.4	735.3	182.3	53.3	30.6	43.8	46.3	46.1	156.6	213.4	2,441.5
R6年度	212.0	223.2	376.7	362.3	304.5	151.6	129.2	168.2	14.6	18.1	48.6	154.0	2,163.0
R7年度	75.2	266.6	412.0	66.7	409.6	123.5	59.3	14.5	31.3	8.7	76.1	127.2	1,670.7
R8年度	216.1	94.2	648.9	353.9									
平年比※3	141.3%	54.0%	157.2%				60.5%	16.7%	47.9%	13.2%	86.7%	94.4%	

R7年度10～2月 降雨量：189.9mm 平年比 46%

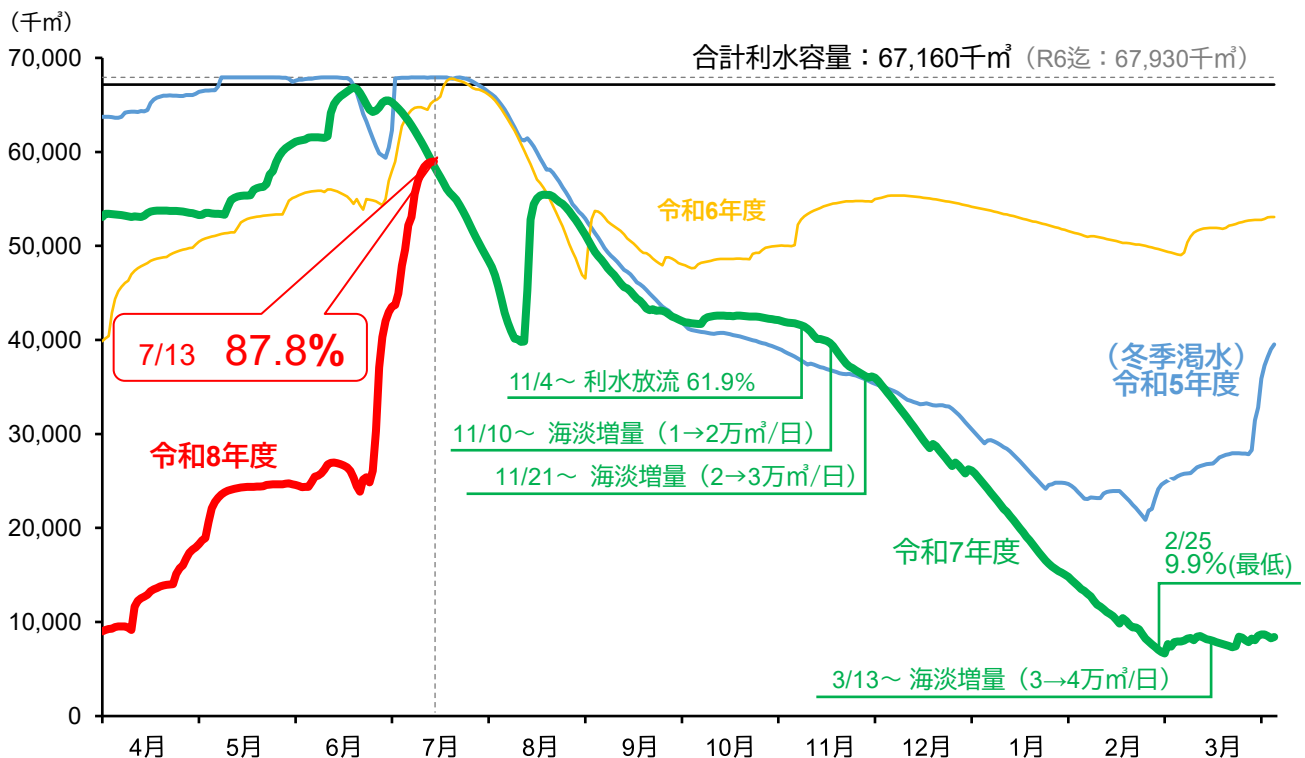


図1 企業団関連ダムの貯水量及び貯水率（7月13日現在）

※1：江川ダム・寺内ダム・小石原川ダム・筑後大堰・合所ダム・大山ダム
 ※2：平年値は1991年（H3年）～2020年（R2年）の30年間を月別に平均した値
 ※3：平年比は4月から6月がR8年度、10月から3月がR7年度のもの

(2) 渇水対応の経緯

日付	企業団及び各団体の対応				
	国・県・水資源機構等 (筑後川水系渇水調整連絡会)	福岡地区水道企業団	送水制限※4	海淡水生産水量 山口調整池※5の活用	構成団体
11/4	企業団関連ダムからの放流開始	少雨傾向対策会議の開催			
11/10		海淡水生産水量増量		海淡水 1 ⇒ 2 万 m ³ /日	
11/20	三ダム関係利水者会議での節水要請				
11/21		海淡水生産水量増量		海淡水 2 ⇒ 3 万 m ³ /日	
12/2		異常少雨対策本部の設置 福岡県への渇水調整の要請			
12/11	九地整渇水対策本部の設置 第 1 次渇水調整の合意 筑後川 3 企業団の統合運用 など				
1/15	第 2 次渇水調整の合意 全利水者統合運用 <u>取水制限開始(15%)</u> 山口調整池の活用 など	渇水対策本部の設置			減圧給水 順次開始
1/16		<u>送水制限開始</u> 山口調整池の活用	約 4.7%	130 万 m ³ を上限に 山口調整池を活用	構成団体間 の水融通
1/26	節水 P R 街頭キャンペーン				
1/28	第 3 次渇水調整の合意 <u>取水制限強化(15→30%)</u> 更なる山口調整池の活用 など				
1/29		<u>送水制限強化</u> 山口調整池からの補填開始	約 17.6%	山口調整池から 4 市町に順次補填	
2/13	第 4 次渇水調整の合意 小石原川ダム渇水対策容量の活用 <u>取水制限強化(30→55%)</u> 山口調整池の活用継続 など				
2/14		<u>送水制限強化</u> 山口調整池からの補填増量	約 29.5%	山口調整池から 13 市町に補填	減圧給水 拡大 (14 市町)
3/13		海淡水機器の整備前倒し完了 海淡水生産水量増量		海淡水 3 ⇒ 4 万 m ³	
4/11		送水制限の一時的な緩和開始			
4/24		送水制限の一時的な解除			
5/28	節水 P R 街頭キャンペーン				
6/5	第 5 次渇水調整の合意 筑後川流域農業関係者への 自主節水を要請 など				
7/13	第 6 次渇水調整の合意 渇水調整の解除 九地整渇水対策本部の解散	渇水対策本部の解散	全面解除		減圧給水 順次解除

※4：送水制限率は、「(全構成団体の協定水量－全構成団体への送水可能水量)／全構成団体の協定水量」にて算出。
(多々良川・那珂川・海水淡水化センターの水を加えるため筑後川の取水制限率と企業団の送水制限率は一致しない)

※5：山口調整池は、福岡導水による導水の安定供給を図る目的で筑紫野市に整備した施設で、
筑後川からの導水の一部を貯留し、取水制限等又は施設のトラブルが発生した場合に補給するもの。

(3) 渇水対策本部の解散について

国は令和 7 年 12 月 11 日に九州地方整備局渇水対策本部を設置して以降、取水制限や筑後川水系ダム of 効率的な運用など、様々な渇水調整を行ってきた。

こうした中、6 月末からの降雨により、主要利水 6 施設貯留水が 80%を超えたことを踏まえ、「各関係利水者における当面の水利用において支障ないと判断される」として渇水調整を解除し、7 月 13 日付けで九州地方整備局渇水対策本部を解散した。

このような状況をふまえて、**当企業団も同日に渇水対策本部を解散**した。

今後も国等の動向に注視しながら、**都市圏で連携・協力して取り組む**ことで、安全で良質な水道用水の安定的な供給に努める。

【参考】現在の筑後川の水源状況について

(1) 水源の状況

7月13日には企業団関連ダム※¹の貯水率が87.8%まで回復し、渇水調整が解除されたが、その後は降雨が少なく、水需要が多い時期でもあることから貯水率が急速に減少し、8月28日時点の貯水率は約40.3%と、令和7年よりも低い状況となっている。

表1 筑後川流域（瀬の下上流域平均）の降雨状況（8月28日現在）

(mm)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平年値※ ²	152.9	174.4	412.8	444.3	232.5	201.0	98.0	86.6	65.4	66.1	87.8	134.7	2,156.5
R5年度	187.1	310.3	436.4	735.3	182.3	53.3	30.6	43.8	46.3	46.1	156.6	213.4	2,441.5
R6年度	212.0	223.2	376.7	362.3	304.5	151.6	129.2	168.2	14.6	18.1	48.6	154.0	2,163.0
R7年度	75.2	266.6	412.0	66.7	409.6	123.5	59.3	14.5	31.3	8.7	76.1	127.2	1,670.7
R8年度	216.1	94.2	648.9	360.8	34.3								
平年比	141.3%	54.0%	157.2%	81.2%	14.8%								

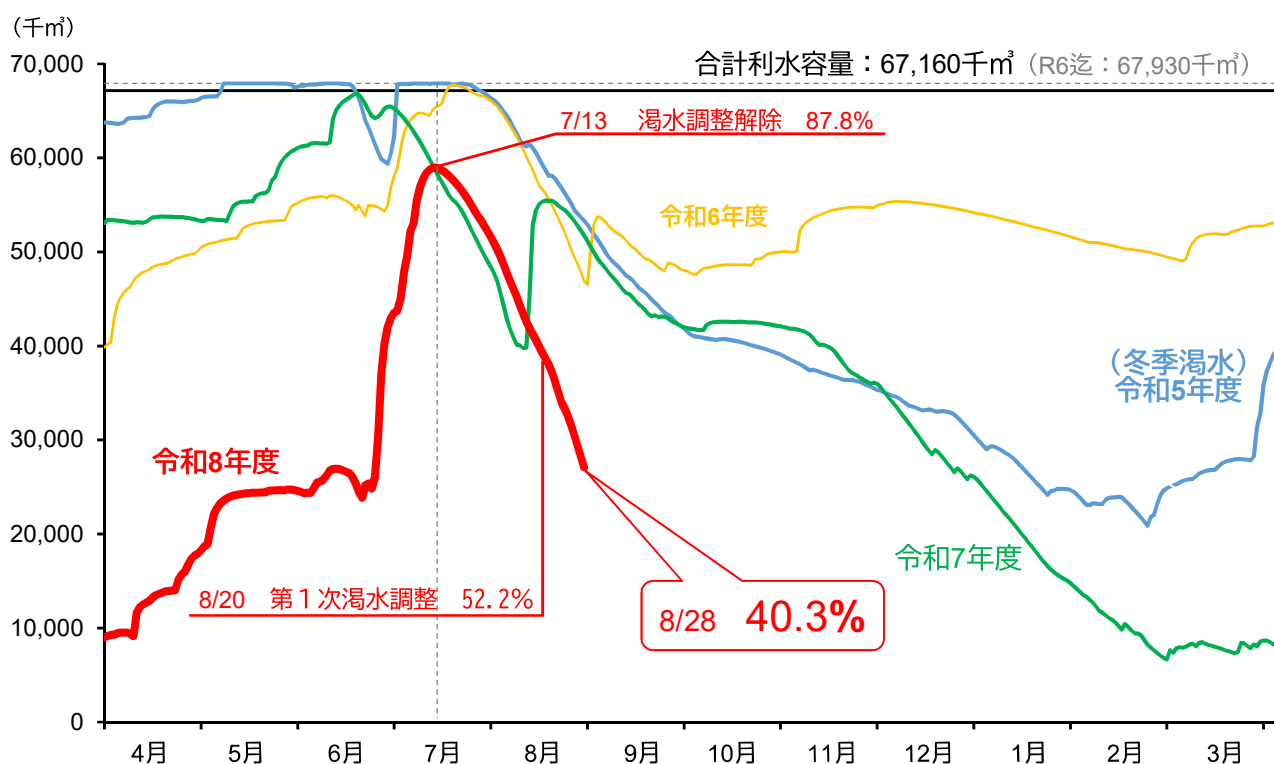


図1 企業団関連ダムの貯水量及び貯水率（8月28日現在）

※1：江川ダム・寺内ダム・小石原川ダム・筑後大堰・合所ダム・大山ダム

※2：平年値は1991年(H3年)～2020年(R2年)の30年間を月別に平均した値

(2) これまでの対応について

このような状況をふまえ、8月10日に異常少雨対策本部を設置し、今後の対応等について検討を行っている。

また、8月20日の国等による第1次渇水調整に基づき、構成団体へ自己水源の活用や節水啓発活動を要請するとともに、ダム貯留水を温存するため、**海水淡水化施設の生産水量を日量2万m³から3万m³に増量**した。

表2 対応経緯

日 付	対 応 内 容
8月2日(日)	・ 企業団関連ダムから放流を開始
8月3日(月)	・ 福岡地区水道企業団が少雨傾向対策会議を開催
8月6日(木)	・ (独)水資源機構が 三ダム(江川・寺内・小石原川ダム)関係利水者等会議を開催
8月10日(月)	・ 福岡地区水道企業団が 異常少雨対策本部を設置
8月12日(水)	・ 福岡地区水道企業団が異常少雨対策本部会議を開催
8月13日(木)	・ 福岡地区水道企業団が福岡県へ渇水調整を要請
8月14日(金)	・ 福岡地区水道企業団が臨時幹事会を開催 ⇒筑後川の水源状況、今後の渇水対応について情報共有
8月20日(木)	・ 国等が 筑後川水系渇水調整連絡会を開催 (第1次渇水調整事項の公表) ⇒筑後川3企業団によるダムの効率的な運用など ・ 九州地方整備局が渇水対策本部を設置
8月21日(金)	・ 福岡地区水道企業団が 海水淡水化施設の生産水量を日量2万m³から3万m³に増量

(3) 今後の対応について

今後も国、県、構成団体や筑後川流域の関係利水者等と連携し、福岡都市圏の給水に大きな影響を与えないように努めてまいります。

